

## 収集情報一覧

No.	テーマ	収集理由
1	大学生を対象とした鶏肉の生食等に関する実態調査	<p>保健所が昨年度実施した調査結果から、鶏肉の生食のきっかけや開始時期の実態に沿った普及啓発の必要性が示唆された。</p> <p>評価委員会の過去の検討経過及び本調査結果を踏まえた、カンピロバクター食中毒予防に関する効果的な普及啓発が検討課題になり得るため、収集情報とした。</p>
2	貝類の自然毒に関する消費者への情報提供について	<p>本年は、例年よりも広範囲で二枚貝の麻痺性貝毒による毒化が確認され、食中毒も発生した。</p> <p>麻痺性貝毒等については、産地等で対策が実施されているが、貝類の自然毒は各種あり、食中毒を防止するためには、消費者への適切な情報提供が必要である。</p> <p>都民への具体的なリスクの有無を踏まえた、貝類の自然毒に関する都民への情報提供が検討課題になり得るため、収集情報とした。</p>
3	家庭における食中毒予防に関する調査結果（調理者の属性に着目した追加解析）	<p>都が昨年度実施した実態調査では、食中毒予防に関する認識や実践の状況について、性別等の属性により、差がある傾向が見られた。そこで、調査対象者の属性に着目して改めて解析を実施した。</p> <p>本結果を踏まえた、家庭での食中毒予防に関する効果的な普及啓発が検討課題になり得るため、収集情報とした。</p>